

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社INTY児童発達支援事業所ヒーローズきっず八王子教室西		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 14日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 46(75.4%)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 14日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しんで通っている児が多い。	児が好きな遊びを取り入れて療育スケジュールを組んでいる。	好きな遊びの中に課題となる遊びを取り入れて、より楽しく通えるように促す。
2	児と保護者のニーズに沿った個別支援計画に基づいて療育が行われている。	児童発達管理責任者による保護者からの意見の尊重や支援員による児に寄り添った視点からの観察が行われている。療育の様子について細かな療育記録を記載している。	今後も職員一同で児や保護者の様子についての情報共有を行っていく。
3	終礼時に職員間で療育の様子について共有をしている。	怪我や喧嘩などの有無について尋ねたり、様子が変わった児についての話題を職員に振っている。	当日の療育について、よかったことや改善点の報告・相談ができています。その伝達が必ず行き届くために、業務日誌や個人ファイルに記載するなど工夫している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育室内を見ることができない。	療育室に窓や覗き穴のような中の様子を見ることがない。	定期的に見学日を設定するなど、療育の様子を見ることができける機会を設ける。
2	迎えに行った際（フィードバック時）に混みあっていて保護者が職員に相談できない。	公式LINEの活用方法が周知されていない。	相談したいことある場合は公式LINEにて伺い、面談日を作ることができることを周知する。
3	支援開始前に職員間での打ち合わせの時間が足りないときがある。	出勤から支援開始までの時間が短い。	必ず共有しなければならない新しい情報について、口頭で説明する時間がない場合はメモを手渡すなどの工夫をする。打ち合わせが必要な時は職員へ告知をするなど、時間の予想をつけさせる。

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026年3月 集計期間：2026年2月14日～2月28日

事業所名：児童発達支援 ヒーローズきっず八王子教室西

対象人数（保護者）61人 回答者数 46人 回収 75.4%

	チェック項目	回答状況			ご意見
		はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	42	4		・中を見たことがない ・実際活動している所を見てないのでコメントできません。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	40	6		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。 ・中を見たことがない ・実際見ていないので、わかりません。
	3 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	8		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。 ・中を見たことがない
	4 指導室は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	44	2		・中を見たことがない
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	5		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	2		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	46			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	4		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	8	1	・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
保護者への説明等	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1		
	12 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	46			
	13 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	40	6		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	14 保護者に対して、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	3	1	・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	15 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	3		
	16 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	4	1	・施設利用がまだ1回しかない為わからない。 ・相談事がない
	17 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	5	1	・迎えに行った際に混み合っていて相談がしたいけどやめとこうと諦める場面が多々あり、お時間とらせてしまって申し訳ないですがお迎えの時間をずらすなど少し余裕が欲しいと思いました。 ・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	18 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43	3		
非常時等の対応	19 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	6		
	20 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	7		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	21 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	3		・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
	22 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	43	3		・怪我等したことがない
満足度	23 こどもは安心感をもって通所していますか。	42	3	1	・施設利用がまだ1回しかない為わからない。 ・まだ行き始めたばかりで不安感が強い
	24 こどもは通所を楽しみにしていますか。	41	5		・いつも楽しく通ってます。 ・ありがとうございます。 ・施設利用がまだ1回しかない為わからない。 ・まだ行き始めたばかりで不安感が強い ・毎週通所曜日が近づく「今日はヒーローズ？」と毎朝尋ねてくるほど楽しみにしています。
	25 事業所の支援に満足していますか。	41	4	1	・施設利用がまだ1回しかない為わからない。
その他	26 今後やってほしい療育はありますか	16	21	9	・ルールのあるゲームなど、友達と関わって遊べる環境を続けてほしいです。 ・体幹を鍛える運動があればお願いしたいです。 ・施設利用がまだ1回しかない為わからない。 ・子どもの発達課題に合わせて(成長に合わせて)行っていただければと思います。 ・気持ちをコントロールできる訓練 ・季節を感じるような行事やイベントがあればより楽しいと思う ・今の内容で大変満足していますが、更に手先を使ったプログラムがあると大変嬉しく思います。いつも本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。

児童発達支援事業所自己評価表：結果

事業所：ヒーローズきっず八王子教室西

作成日：2026年2月8日 公表日：2026年3月

実施日：2026年2月14日～2026年2月28日

提出数：7人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導室等のスペースに対して適切であるか	7			
	②	職員の配置数は適切であるか	3	4		・基準人員が足りなさうなときがある。 ・ほぼ適切であるが、全てではない。
	③	事業所の設備等についてバイオフィー化の配慮が適切になされているか	7			
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に職員が参画しているか	4	3		
	⑤	保護者向け評価表を活用する等により保護者の意向を把握し、業務改善につなげているか	6	1		・すべての保護者の意向を把握までは読む時間がとれていない。
	⑥	この自己評価の結果を事業所のホームページ等で公開しているか	6	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	2	2	3	
	⑧	職員の資質の向上を図るために研修の機会を確保しているか	7			
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	7			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		
	⑫	活動プログラムが適切であるよう工夫しているか	6	1		・利用児の特性を考えた上でプログラムを決定している。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別支援と集団支援を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7			
	⑭	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3		
	⑮	支援終了後に職員間で打ち合わせをし、支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか	7			
	⑯	日々の支援に関して記録を取ることを行い、支援の検証・改善につなげているか	7			
	⑰	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	⑱	5領域（健康・生活／運動・感覚／認知・行動／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性）を複数組み合わせる支援を行っているか	7			
関 係機 関や 保護 者との 連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	7			・児発管が参加している。
	⑳	他事業所との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	6	1		
	㉑	通園している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			
	㉒	卒園し、小学校や放課後等デイサービスに移行するにあたり、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2	1	・島田療育センター研修への参加を実施している。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	6	1		
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	1	・母子分離が難しい利用児に対し保護者同席の場を設けている。
保護 者への 説明 責任 等	㉖	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	㉘	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	㉙	個人情報に十分注意しているか	7			・ヒヤリハットがでた。
	㉚	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・公式LINEがある。
非常 時 など の 対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	6	1		・契約時にも話している。
	㉞	食事時、食物アレルギーのある子どもについて、安全に配慮しているか	7			
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			